元気ふくしま応援宣言！

File No.242

バスケットボール「渡利カップフェスティバルU15大会」が5月4日に福島市内で開催され、女子は信陵中が優勝を飾りました。決勝では昨年の県U15選手権準Vの強豪・岳陽中と対戦。同選手権の県北地区予選で敗れた相手でしたが、鈴木主将がチーム最多の18得点をマーク。ガードの高野選手も攻守で奮闘をみせ、見事にリベンジを果たしました。「優勝できてメチャうれしいです。苦しい場面もありましたが、流れがくると信じて踏ん張りました」と鈴木主将。チームの目標は全国中学校体育大会（全中）出場です。それには県中体を突破し、東北大会で2位以内に入らなければならない厳しい道のりが待っていますが「全員で戦って、まずは県優勝を目指します」と気合い十分。部員23人が一丸となって、目標に突き進もうとする姿は、光り輝いていました。

（第3種郵便物認可）　2021年（令和3年）5月5日（水曜日）　スポーツニッポン　9版B福島（22）

主将・鈴木18得点!!岳陽中にリベンジ

女子 信陵中 県中体へ弾み V7

男女決勝までが行われ、女子は、昨年11月の「県U15選手権U14中学校部活動チームの部」16強の信陵中が、同選手権準Vの岳陽中を49－38で破り優勝。今年度の全中につながる予選に向け弾みをつけた。エース鈴木虹光主将（3年）がチーム最多の18得点を挙げ優勝に貢献した。また、男子は福島四中が頂点に立った。

渡利カップフェスティバルU15バスケットボール大会最終日（4日　福島トヨタクラウンアリーナ）

▽女子決勝
信陵中 49（13－14、11－3、11－13、14－8）38 岳陽中

目標は全中出場「まずは県優勝」

信陵中の高地が、気まぐれな勝利の女神を振り向かせた。鈴木主将は「優勝できてメチャうれしいです。シュートが入らなくて、苦しい場面もありましたが、ディフェンスを頑張って、シュートを打って、流れが来ると信じて踏ん張りました」と笑顔がはじけた。

苦しい試合を強いられた。36－24で迎えた第4Q。岳陽中に連続12得点を決められ36－36に追いつかれる。だが、鈴木主将が得たフリースロー1本を決めて勝ち越すと、そこから一気に連続9得点を決めて流れを引き戻し、頂点に立った。

岳陽中は、県U15選手権の県北地区予選決勝で敗れた相手。以来、岳陽中との練習試合を行い実戦を積み重ねてきた。小柳淳監督（58）は「岳陽は全員が3点シュートを決める得点力もあり守備も強い。とにかく、ディフェンスをしっかりやった」。この日の決勝でチーム最多の18得点を挙げた鈴木主将が地を見せ、さの高野沙弥（静にボールを運び、攻守で奮闘したことも強豪撃破につながった。

県中体も2位以内に入り全中出

今年の目標は全中出

県中体へ弾みをつける優勝！

福島信陵中学校 女子バスケ部

DATA

◇その他 試合結果◇

女子決勝
信陵中 49 - 38 岳陽中
女子3位決定戦
Bravely Nexus 34 - 23 福島一中
女子準決勝
信陵中 48 - 29 Bravely Nexus
岳陽中 47 - 30 福島一中

男子決勝（福島四中が優勝!）
福島四中 46 – 45 福島一中
男子3位決定戦
松陽中 61 – 57 Bravely Nexus
男子準決勝
福島四中 55 – 51 松陽中
福島一中 51 – 45 Bravely Nexus